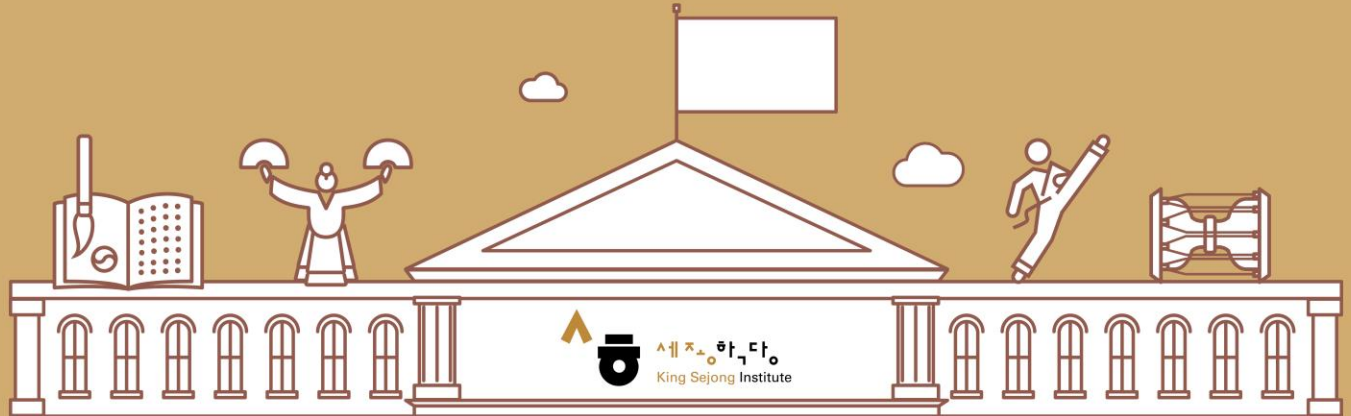




世宗学堂ジャーナル⑨

「ハングルの分かち書き」

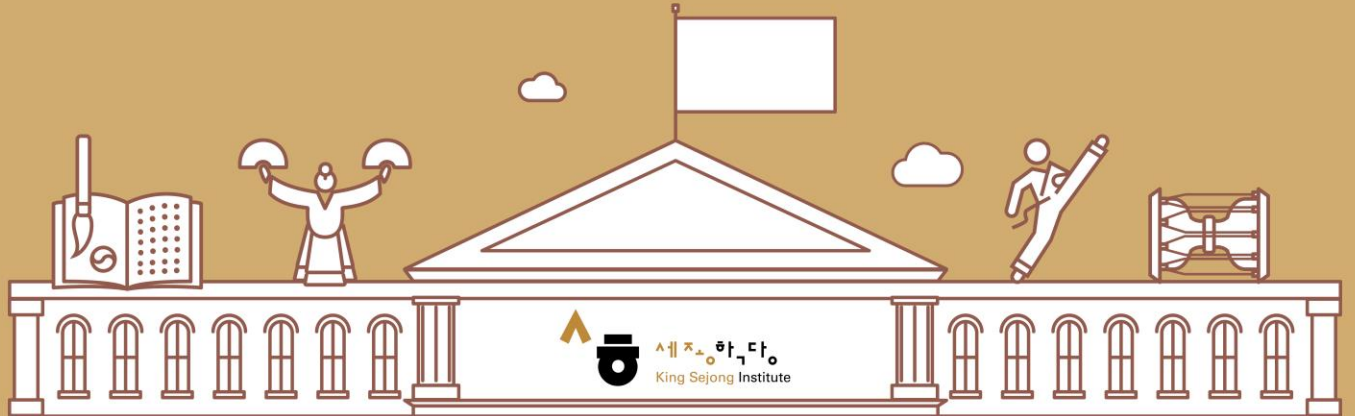
英語はアルファベットのみで書くので、「I am a student」のように単語をすべて繋げて書いてしまうと、ことばの区切り目が分からなくなり、読みにくくなります。これくらいの短い文章なら、「I am a student」であることはすぐ分かりますが、文章が長くなると、文章を読むのも大変ですし、その意味を読み取るのも難しくなります。そこで英語では、単語と単語の間を1文字ずつ空けて書きますが、このような書き方を分かち書き(띄어쓰기)といいます。



金珉秀 先生
(東海大学国際教育センター
専任講師)

日本語も仮名のみで書く絵本などでは、単語や文節ごとに分かち書きをしますが、原則として漢字仮名交じり文で書く日本語は、漢字と仮名がことばの区切り目を表すヒントになるので、分かち書きをしなくても読みにくくありません。

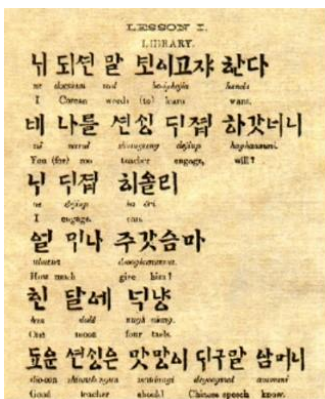
一方、韓国語は「ハングル(한글)」のみで書くので、英語のように単語と単語の間を空けて書く分かち書きをします。この分かち書き(띄어쓰기)は文章を読みやすくするだけでなく、意味解釈の重義性を防ぐ役割もします。たとえば、「오늘밤나무사올게요」はどこで分かち書きをするかによって、「오늘✓밤✓나무✓사✓올게요.(今晚、木を買ってきます)」「오늘✓밤나무✓사✓올게요.(今日、栗の木を買ってきます)」「오늘✓밤✓나✓무✓사✓올게요.(今晚、私、大根を買ってきます)」の3通りの意味になります。そこで、分かち書きを間違えると、次のように意味が変わってしまう場合もあります。



너라면 ✓ 믿을래?
 お前なら信じる？
 나물 ✓ 줌 ✓ 주세요
 ナムルをちょっとください
 무지개 ✓ 같은 ✓ 상사
 虹のようば上司
 서울시 ✓ 체육회
 ソウル市体育会
 아버지가 ✓ 방에 ✓ 들어간다
 父が部屋に入る
 몸만 ✓ 들어 ✓ 오세요
 (入居者募集広告)
 体だけで入居してきてください
 친구가 ✓ 죽을 ✓ 먹어요
 友達がおかゆを食べます



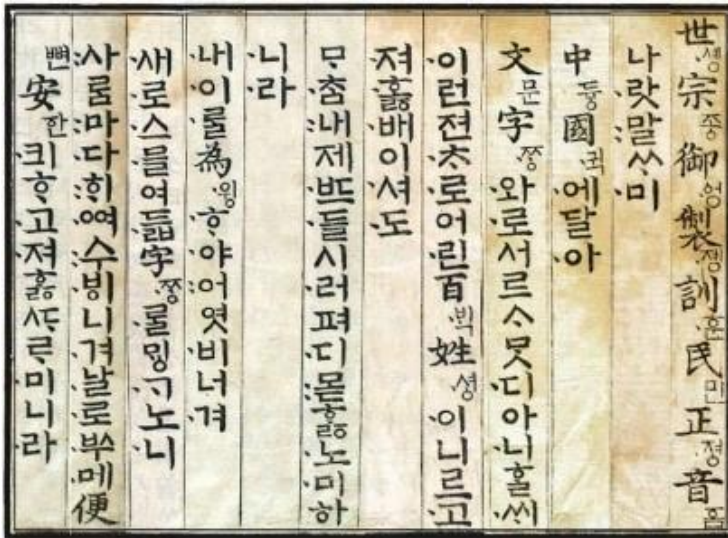
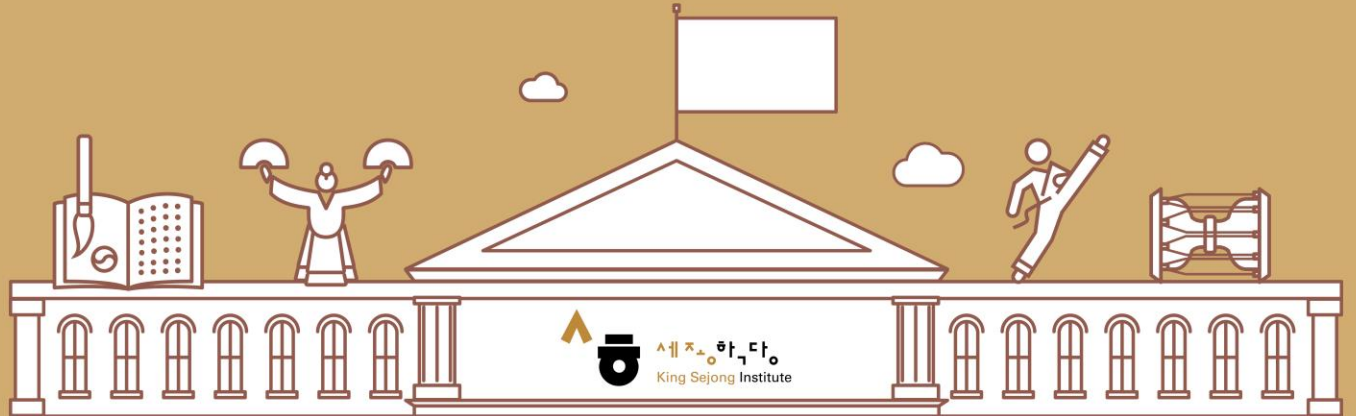
너 ✓ 라면 ✓ 믿을래?
 お前、ラーメン、信じる？
 나 ✓ 물 ✓ 줌 ✓ 주세요
 私に水をちょっとください
 무지 ✓ 개 ✓ 같은 ✓ 상사
 とても犬のような上司
 서울 ✓ 시체 ✓ 육회
 ソウル死体ユッケ
 아버지 ✓ 가방에 ✓ 들어간다
 父、カバンに入る
 몸 ✓ 만들어 ✓ 오세요
 体を作ってきてください
 친구 ✓ 가족을 ✓ 먹어요
 友達の皮を食べます



『조선어 첫걸음
(Corean Primer)』

ところで、世宗大王が『訓民正音(훈민정음)』
 を作った当時は、ハングルの分かち書きは行わ
 れていませんでした。国立国語院によると、ハ
 ングルに分かち書きが使用された最初の文献は
 1877年にイギリスの牧師ジョン・ロス (John
 Ross) が書いた「조선어 첫걸음(Corean
 Primer)」です。この本は外国人のための韓国
 語教科書ですが、英語の分かち書きが反映され
 ています。そして、1896年には서재필(ソジェ
 ピル)らによって創刊されたハングル専用の
 『獨立新聞(독립신문)』でハングルの分かち
 書きの実践が試みられました。

その後、1933年に朝鮮語学会の「ハングル正書法統一案(한글 맞춤법 통일안)」によって本格的に分かち書きが普及されました。現在の「ハング
 ル正書法(한글 맞춤법)」は、1988年に「한글 맞춤법 통일안」をもと
 に改訂されたものです。



『訓民正音(훈민정음)』解例本

このように分かち書きはもともと可読性を高めるために考案されたものです。ハングル正書法(한글 맞춤법)にはそのルールが定められていますが、ルールが複雑で、許容や例外も多いため、韓国人にとってもかなり難しいのが事実です。前国立国語院長ですらその使い方に自信がないと言っているくらいです。

最近SNSやマスメディアにおいて間違った分かち書きが無分別に使われているのもよく目にします。しかし、韓国人も分かち書きをよく間違えるし、ルールをあまり守らないからといって、分かち書きを無視して書いてもよいということにはなりません。韓国語表記の基本ルールとして、また読み手に意味を正しく読み取ってもらうための優しい配慮として、少なくとも「名詞と助詞は繋げて書く、名詞と입니다・합니다は繋げて書く、数字と助数詞は離して書く、連体形と名詞は離して書く、否定の副詞안・못と用言は離して書く」などは守って書きましょう。韓国語の分かち書き(띄어쓰기)は、日本語の文節と一致する場合が多いので、それを意識しながら書くとよいでしょう。また、2つのことばが結びついている場合、国立国語院の「標準国語大辞典」に載っているものは繋げて書いて、載っていないものは離して書くというのも一つの方法です。

さて、「사 랑 해 보 고 싶 다」、みなさんにはどういう文章に見えますか？

これは、恋人がいる人には「사랑해✓보고✓싶다(愛してる、会いたい)」、独り身の人には「사랑✓해✓보고✓싶다(恋愛、してみたい)」のように見える不思議なフレーズです。みなさんにはどのように見えたでしょうか？